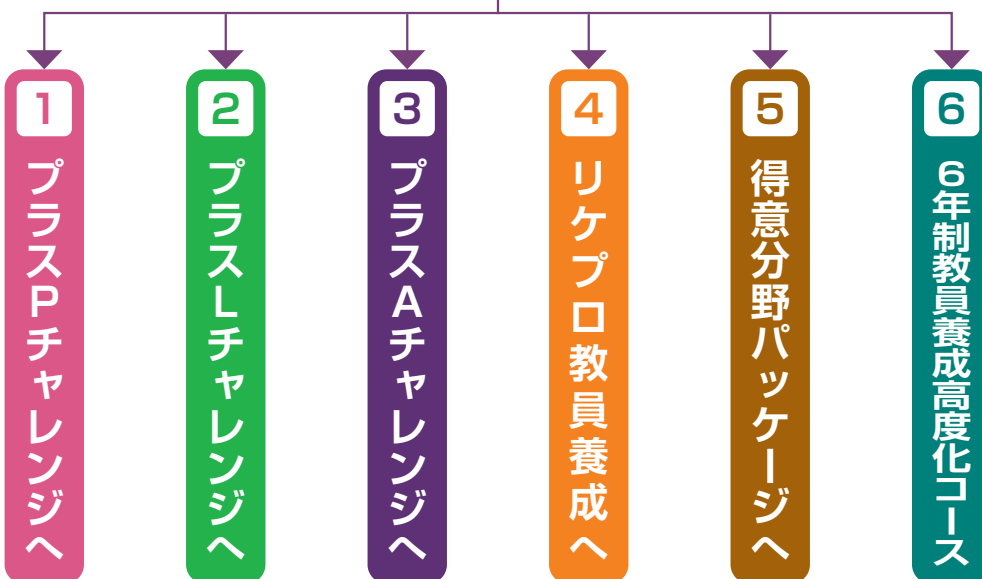


# プラアルマップ

「プラアルマップ」とは、学生の皆さんが、  
本学でプラス・アルファなことにチャレンジする際のガイドマップのことです。  
「プラ」とした気持ちで、  
何か自分にできること「アル?」という感じで立ち寄ってみてください。

## プラアル スタート

- ① 学校ボランティアに興味がある
- ② もう一つ教員免許を取得したい
- ③ 地域連携や学生主体の活動に参加したい
- ④ 理系教科に興味がある
- ⑤ 得意分野をつくりたい
- ⑥ 大学院進学に興味がある



次世代の教員は多彩な力と経験が必要です。  
あなたは何にチャレンジする？

## 1 プラスP (Practice) チャレンジ

「プラスPチャレンジ」とは、学校での実践経験を積み、実践力をアップしようという取り組みです。必修科目の中に多くの実地教育科目が含まれていますが、「公立学校インターンシップ」や公立学校等教育実習（オプション実習）などの選択科目もあり、教育実習を終えた学生が、さらに積み上げの教育実習やインターンシップに参加できます。また、教職キャリア高度化センターのボランティアオフィスに登録して、学校からの要請に応じて「学校ボランティア」として、多様な教育活動の補助等として活動をすることができます。附属学校での教育実習や大学の授業だけでは関わるできない貴重な経験を積むことができます。

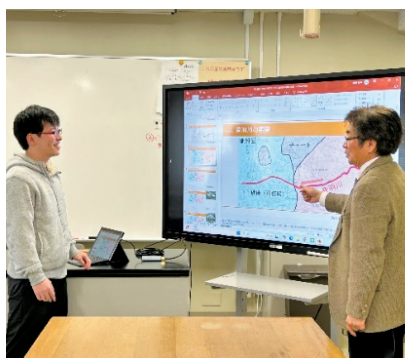
公立学校における先生方の働き方について深く学びたいと思い、このインターンシップ研修の授業を受講しました。教科指導やHR運営だけでなく、生徒指導における先生方の動きを一番近くで見ることができ、チームとして働く学校現場を知ることができました。教職に対する向き合い方や大切な心得など、教員になるために必要な経験を得ることができました。

数学領域専攻4回生 唐崎百音



## 2 プラスL (License) チャレンジ

「プラスLチャレンジ」とは、義務教育を中心とした複数の教員免許を取得することによって、教員として対応能力の幅を広げる取り組みです。接続する校種の教員免許を取得することは、子どもの発達段階を見通した指導に役立つだけでなく、小学校での教科担任制や義務教育学校などでも活躍できます。特別支援教育の免許は、特別支援学校での勤務だけでなく、支援の必要な児童生徒の教育に携わる時の強い力になります。小学校では英語の免許を持った教員が強く求められていますし、他教科の免許も有効です。複数免許の取得によって教員としてのキャパシティを拡大することは、教員養成大学に在学中だからこそ可能なチャレンジです。



私は卒業要件である小学校・中高理科1種に加えて、幼稚園・中高家庭科1種、学校図書館司書教諭の教員免許（資格）を取得しました。小学校では高学年において、2022年度から英語・理科・算数・体育が教科担任制になり、2025年度からは拡大される予定です。私は複数の教員免許を取得する中で、教科どうしの知識が繋がったことで教科横断的な指導ができるようになり、子どもにとってよい授業ができるようになったと感じています。

理科領域専攻卒業生 村本直也

### 3 プラスA (Activity) チャレンジ

「プラスAチャレンジ」とは、学生のみなさんの自律的で協働的な活動を推進する取り組みです。めまぐるしく変化し、新たな課題が次々と出現する現代社会では、新しい発想や創造力を活かして、多様な仲間と協働的に活動する能力がますます必要になっています。このような力は、自ら経験して乗り越えていくことでしか身につけません。本学は、学生の独創的で創造力ゆたかな研究活動を奨励する学生支援研究プログラム（e-Project）をはじめ、ピアサポートや運動部活動指導者育成など、教育課程外の大小様々な学生の活動を推奨し支援しています。

#### 体育・スポーツ指導力養成プログラム

私がこのプログラムに参加した理由は、小学校教員になった際に体育の授業に少し不安があったからです。このプログラムでは小学生に直接指導できるため実践的な対応力が付きました。最初は児童とどのように接すれば良いのか分からなかったですが、先生や先輩に教えてもらいながら学ぶことができました。

理科領域専攻2回生 六浦綾花



体育・スポーツ  
指導力  
養成プログラム



e-Project

### 4 リケプロ教員養成

「リケプロ」とは、小・中・高等学校の理系教科指導に関する講義を受講することによって、理系教科の指導力を向上させる取り組みです。理系教科の指導力向上は、児童生徒の理系教科の学力向上につながるもので、一定の基準をクリアすれば、小学校の理系教科指導に強い「理系教育ジェネラリスト」中・高等学校の理系教科指導に強い「理系教育スペシャリスト」に認定されます。そのほかにも、本学の教職員が科学の魅力をオムニバス式に伝える「先生になりたい それはかなう夢」講座や、3分程度の理系教科指導用デジタルコンテンツを学生が開発し、本学公式YouTubeサイトにアップするなどの取り組みにも参加することができます。

入学以来、理系科目の教員として深い知識を持っていたいと感じ、理系教育スペシャリストの取得に励みました。大学の授業では理科や数学など幅広い学問を学び、理系科目に関するさまざまな知識を学ぶ中で、教科間のつながりの多さに気づくことができました。この学びは教育実習や教員採用試験でも役立ったと感じており、教員になった際もこの学びを活かしていきたいです。

理科領域専攻卒業生 佐々木花菜



理系教員養成  
プログラム

## 5 得意分野パッケージ

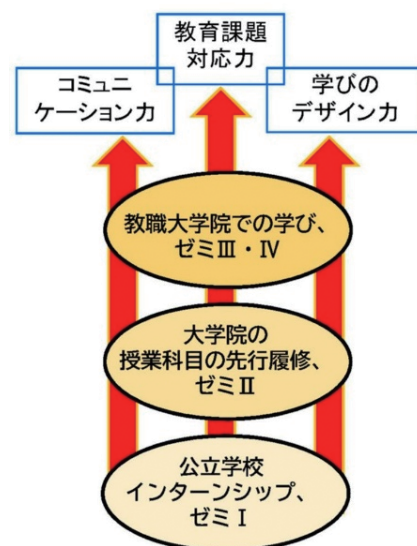
本学では、各自の履修目的や意欲により選択することができる「得意分野パッケージ」科目を設定しています。現在、4つのパッケージ（下表）が設置されています。いずれも、将来、教職に就いたときに役立つ内容となっていますので、各自の興味・関心も含めた履修目的に応じ、主体的に履修することを奨めています。

なお、パッケージごとの、「パッケージ履修証明書発行要件」を満たした場合は、申し出により、「得意分野パッケージ科目履修証明書」の交付を受けることができます（在学中も可能です）。

パッケージ名称	パッケージ概要
外国人児童生徒等教育	在住外国人の増加に伴い、学校現場でも多様な言語文化背景をもつ子どもに対する対応が重要な課題となっている。本パッケージは外国人児童生徒等の指導について、日本語指導、文化適応、キャリア教育等、幅広い視点から求められる専門性を養成する。
発達障害の教育	特別支援教育は、インクルーシブ教育システムの構築を目指して、幼稚園から高等学校までの全ての学校種で専門性が求められる。本パッケージは、発達障害のある幼児児童生徒の理解と対応方法に対する基礎的な知識や技能を身につけることを目的としている。
幼児教育	質の高い幼児教育は、子どものその後の成長を支える重要なものであることが研究上明らかになり、世界的に注目を浴びている。我が国においても幼児教育の無償化など、幼児教育は重点政策課題に位置付くようになった。本パッケージは、今後の幼小接続教育等において活躍できる教員の養成に向けて、幼児教育に関する基礎的な知識を身につけ、質の高い幼児教育の重要性を理解することを目的とする。
グローバル教員育成	本パッケージは、グローバル（Global）な視点を持ちながら、地域（Local）の特色を大切に、学校現場で教育にたずさわり、教育のグローバル化に向き合い実践できる教員の育成に向けて、求められる基礎的な資質能力を学ぶことを目的としている。

## 6 6年制教員養成高度化コース

6年制教員養成高度化コースとは、学部4年と大学院2年を組み合わせる6年間一貫の学びを行うコースです。子どもや保護者、学校の同僚との「コミュニケーション力」、教科指導・生徒指導・校務分掌における「教育課題対応力」、そして自らの課題・研究を意識し、学び続ける力を高める「学びのデザイン力」など、3つの実践的指導力を持った教員をめざします。コースには学部から大学院まで、学年、専攻の垣根を越えて多様な学生が集まり、仲間として協働で学ぶ環境で学修します。仲間と共に高め合い、しなやかでくじけない学び続ける高度な実践的指導力を持った教員養成を行います。学部2回生時にコース登録の申請を行い、選考を経て、学部3回生からコースに所属します。



「プラアル」を含む特色ある教育プログラムはこちらから →



■ プラアルマップに関することは、学生課2番窓口まで